

それに伴い、マーケティングデータの活用やオートメーションを支援するマーケティングテクノロジーが爆発的に増えてきています。全世界のマーケティングテクノロジーは、chiefmartec.comにおいてスコットブリンカー氏によって取りまとめられた「Marketing Technology Landscape Supergraphic 2020」によれば、8,000 以上存在すると言われてしています。

「マーケティングテクノロジーカオスマップ JAPAN 2020」の特徴

「マーケティングテクノロジーカオスマップ JAPAN 2020」は、昨年引き続き、アンダーワークスが独自調査を経て取りまとめたもので、国内で利用可能なマーケティングテクノロジーのうち、主要なものを 16 分野 109 カテゴリーに分類し、1,234 種類のテクノロジーとして一覧化し、2020 年現在の日本国内における主要マーケティングツールを俯瞰できる内容になっています。

「マーケティングテクノロジーカオスマップ JAPAN 2020」は、2019 年度版の 930 テクノロジーに比べて約 1.3 倍に増加し、カスタマーサクセス、リアルタイムインタラクション、イベント管理の分野を新設しました。

コロナ禍の影響を受けて、オンラインのイベントやセミナーがオンライン化、ウェビナーに代表されるイベント管理ツールなどが注目されています。また、セールススタックのようにテクノロジーを用いた営業活動をしていこうという機運も見られています。

カスタマーサクセスは、サブスクリプションビジネスの台頭により「いかに長く使い続けてもらうか」が重要視されつつあり、今後注目されていくと考えています。チャット関連ツールなどリアルタイムインタラクションでは掲載数が大きく伸び、ますます One to one マーケティングが進んできているのが現れています。

さらに、コンテキスト・ターゲティングを含む広告最適化のツールも掲載数が大きく伸び、AI の技術が特に広告のターゲティング制度の向上に使われ始めており、Cookie に依存しない広告最適化が進んできています。

本カオスマップでは、製品/サービスのロゴだけでなく、製品名/サービス名を併記し、掲載されたテクノロジーを検索、比較・検討の支援となることを狙っています。それにより、企業のマーケティングテクノロジー導入が成果につながるようになることを期待しています。

PDF 資料のダウンロード

本「マーケティングテクノロジーカオスマップ JAPAN 2020」は、PDF 形式で以下の URL からダウンロードすることが可能です。

<https://www.underworks.co.jp/download/wp-chaosmap-2020/>

アンダーワークスについて

アンダーワークスは、多くのマーケティングテクノロジーに精通し、またグローバルプロジェクトの豊富な実績を強みに、デジタルマーケティングの戦略立案から実行支援までワンスト



ップに支援しています。 サービス提供範囲は「調査／アセスメント (Discovery)」「戦略策定 (Strategy)」「データ活用／分析 (Data)」「コミュニケーション設計／コンテンツ制作 (Communications)」「実行／運用支援 (Execution)」「デジタルガバナンス (Governance)」まで多岐にわたります。

以上